

ひろさき

編集発行 弘前市市民環境部広報広聴課 No. 113

平成 22 年 11 月 1 日号
(2010)

特集

■落ちたくない！

10 月 10 日・11 日の 2 日間、弘前市運動公園（豊田 2 丁目）を主会場に開催された「第 3 回弘前スポレク祭」では、市民が多彩なスポーツやレクリエーションに参加。このうち、弘前版サスケのアスレチックには、子どもたちが楽しみながら果敢に挑んでいました。

11 月 9 日は「119 番の日」…………… P. 2

●市 政／委員を募集します…………… P. 3

エコドライブ推進月間 ほか

●お知らせ／催し、教室など…………… P. 8

●健 康／健康ですか ほか…………… P. 16



11月9日は「119番の日」

火災が起きた時や、災害時の救急・救助活動などは、1分1秒を争う時間との闘いです。皆さんからの正しい119番通報は、迅速・確実な消防活動に欠かせないものです。「いざ」というとき、落ち着いて行動できるように、この機会にもう一度、119番通報について確認しましょう。

119番の通報件数は年間1万800件

平成21年中に消防本部で受信した119番通報は1万800件、1日当たり約30件でした。

消防本部では、被害を最小限にとどめ、大切な命を救うため、皆さんからの119番通報の内容を基に、その現場の状況に応じた車両を出動させています。発生場所や災害状況などの正しい情報がなければ、到着が遅れ、被害はさらに拡大してしまいます。緊急事態に直面したときこそ冷静に判断し、正確な通報ができるよう心掛けましょう。

119番通報のポイント

①「火事」か「救急」かを、はっきり伝える
②場所は正確に伝え、住所や

目標となるものを伝える

③火事の場合は、何が燃えているのか、逃げ遅れた人やけが人がいるのかを伝える
④救急のときは、現場の状況（病人やけが人の状態など）をできるだけ詳しく伝える

※救急車が到着するまでの間、傷病者への応急手当を指導したり、持病の有無やかかりつけの病院などを尋ねたりする場合があります。

【携帯電話からの通報】

携帯電話は、どこからでも通報することができですが、電波の状態によっては途中で切れたり、声が聞き取りにくいことがあります。そのような場合は、場所を変えるなどして通報してください。

消防本部では、平成21年12月から発信場所の位置情報が特定できるシステムの運用が始まりました。このシステムは、迅速かつ効果的な指令業務に役立っています。

務に役立っています。

通報者自身、現在地が分からない場合は、付近にいる人に聞いたり、目標となる建物や住所表示が確認できる看板などを参考にしたりして、通報してください。また、自動車の運転中は安全な場所に停車してから通報し、通報後は電源を切らないでください。

間違えて119番にかけたときは

必ず「間違えた」ことを伝えてから電話を切ってください。無言で切ると、通信指令員は緊急事態と判断し、呼び返して確認します。

一刻も早く到着できるように

「サイレンを鳴らさないで

来てください」と要望する人がいますが、緊急自動車は一刻も早く救急現場に到着できるように、赤色灯をつけ、サイレンを鳴らして走行するように法律で定められています。ご理解とご協力をお願いします。

緊急時以外は利用しないで

119番は緊急通報専用の電話です。それ以外では利用しないようにしてください。病院案内や火災情報などは、左記にお問い合わせください。

●病院案内：☎32・3999
●火災情報：☎33・9119

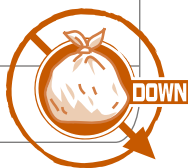
消防本部の通信指令室は見学できます。希望する人はお



委員を募集します!!

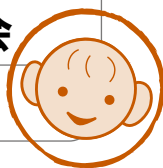
あなたの力を市政に生かしてみませんか

廃棄物減量等 推進審議会 委員



市では、ごみの減量化や資源化およびごみの適正排出について審議するため、「弘前

弘前市 子ども・子育て 支援推進協議会 委員



市では、安心して子どもを産み、元気に育てることができ、子どもたちの笑顔がふれる弘前の実現に向け、平成23年10月をめどに「Smile弘前子育てマスタープラン」を

策定することとしています。

このプランを策定するに当たり、市での子育てに関する問題点、課題、市民ニーズなどの現状把握と、取り組みの基本的な方向性などについて協議・意見交換をするため、学識経験者、各種団体などからなる「弘前市子ども・子育て支援推進協議会」を設置します。現在、この協議会の市民公募委員を広く募集していますので、当市での子育てについて関心のある人は奮ってご応募ください。

▽応募資格 市内に在住する満20歳以上の市民（議員、公務員を除く）

※現在、既に市の審議会などの委員になっている人はご遠

慮ください。

▽募集人員 4人程度

▽応募期限 11月15日（必着）

▽委員の任期・会議開催など 任期は2年間。会議は年2

回程度で、平日の日に開催する予定

※必要に応じ、託児対応をします。

▽謝礼など 1回の開催につき、謝礼8000円と交通費（バス代など）を支給

▽応募方法 次の事項を記入した応募用紙を、郵送、持参、またはEメールで提出を。

①住所・氏名（ふりがな）・性別・生年月日・職業・電話番号

②「地域における子育てのために必要なこと」をテーマと

平成3年4月1日以前に生まれた人

▽募集人員 4人程度

▽募集期間 11月1日～30日（必着）

▽委員の任期・会議開催など 任期は2年間。会議は年2

回程度で、平日に開催

▽応募方法 次の事項を記入した応募用紙を、郵送、持参、またはEメールで提出を。

①住所・氏名・性別・生年月日・職業・電話番号

②ご問題に関する作文（800字程度で応募者本人が作成したもの）

なお、応募用紙の様式は自由です。

▽発表 選考結果は、応募者全員に書面で通知します。

▽問い合わせ 提出先 環境保全課リサイクル推進係（〒036・8551、上白銀町1の1、市役所2階、☎35・130、Eメール kankyoun@city.hirosaki.jp）

③お問い合わせ 提出先 環境保全課リサイクル推進係（〒036・8551、上白銀町1の1、市役所2階、☎35・130、Eメール kankyoun@city.hirosaki.jp）

11月 子ども・若者 育成支援強調月間 & 児童虐待防止推進月間

子ども・若者

育成支援強調月間

未来を担う子どもたちが健やかに育つことは、私たち共通の願いです。命を大切にすると心や社会のルール、他人を思いやり、感謝することの大切さなど、家庭や地域で積極的に伝えていきましょう。

市では、悩みを抱える青少年や、子どもについて心配事を抱える保護者のために、相談窓口を開設していますので、ぜひご利用ください。

▽相談窓口 少年相談センター（市役所2階、☎35・7000）

▽利用時間 午前9時～午後4時（土・日曜日、祝日を除く）

子どもを守ろう

「見すごすな 幼い子どもの SOS」
（平成22年度児童虐待防止推進月間標語）

児童虐待防止推進月間

児童虐待は、社会全体で解決しなければならぬ重要な課題です。そのためには虐待の発生予防、早期発見、早期対応が必要です。少しでも児童虐待が疑われる場合は、次の機関に連絡をお願いします。

▽連絡先

○子育て支援課子育て支援係（☎40・7038）

○弘前児童相談所（☎36・7474）

○弘前警察署（☎32・0111）

○各地区の主任児童委員

■児童虐待防止推進月間についての問い合わせ先 子育て支援課子育て支援係



11月は「エコドライブ推進月間」

警察庁、経済産業省、国土交通省および環境省を関係省庁とするエコドライブ普及連絡会では、行楽シーズンで自動車に乗る機会が多くなる11月を「エコドライブ推進月間」と位置付け、エコドライブの普及・推進を図っています。

エコドライブって何？

エコドライブとは、緩やかな発進やアイドリングストップなど、環境に優しい運転方法のことをいいます。

エコドライブは、運転する人の気配りで手軽に取り組むことができ、地球温暖化や大気汚染の原因となる二酸化炭素（CO₂）や排気ガスの排出を抑えるだけでなく、燃費の向上や燃料費の削減、交通安全にもつながるなど、多く

のメリットがあります。

ハイブリッド車や電気自動車など、環境に優しい自動車も普及し始めていますが、運転の仕方によって環境に与える影響は左右されます。自動車から排出されるCO₂を抑えるために、みんなでエコドライブに取り組みましょう。

エコドライブってどうするの？

エコドライブの具体的な方法は、下記の「エコドライブ



10のすすめ」のとおりです。それぞれの車種や使用頻度を考え、自分が取り組みやすいところから実践していきましょう。

また、近距離の移動は徒歩にしたり、なるべく自動車を

使用せず、相乗りや公共交通機関を利用したりするなど、この機会に自動車の使用について見直してみしましょう。

▽問い合わせ先 環境保全課環境保全係（☎40・7035）

エコドライブ10のすすめ

ふんわりアクセル「eスタート」 優しい運転を心掛けましょう。 	加減速の少ない運転 車間距離は余裕を持って、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。 	早めのアクセルオフ エンジンブレーキを積極的に使いましょう。 	エアコンの使用を控えめに 夏は車内を冷やし過ぎないようにしましょう。 	アイドリングストップ 無用なアイドリングをやめましょう。
暖機運転は適切に エンジンかけたらすぐ出発しましょう。 	道路交通情報の活用 出掛ける前に計画・準備をし、渋滞や道路障害などの情報をチェックしましょう。 	タイヤの空気圧をこまめにチェック タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。 	不要な荷物は積まずに走行 不要な荷物は積まないようにしましょう。 	駐車場所に注意 渋滞などを招くことから、違法駐車はやめましょう。

※エコドライブ普及推進協議会より

母子寡婦福祉資金

貸付金の予約を受け付けます。

■対象 母子・寡婦家庭の児童・生徒で、来春、①小学校から大学までの各学校に進学する人 ②知識や技能の習得を希望する人

※申請には連帯保証人が必要です。

■貸付限度額 左表参照

■貸付時期 就学支度資金Ⅱ3月末／修学資金・修業資金Ⅱ入学確認後

■償還 無利子、据え置き期間は修学終了後6ヵ月 就学支度資金Ⅱ20年以内（修業施設と専修学校の一般課程は5年以内）／修学資金Ⅱ20年以内（専修学校の一般課程は5年以内）／修業資金Ⅱ6年以内

■申請期間 11月1日～平成23年1月31日

※期間内に申請しないと、貸付金交付が4月以降になる場合があります。修学資金は日本学生支援機構などの貸付制度利用者を除きます。

■申請先 県中地域県民局地域健康福祉部（蔵主町、弘前合同庁舎1階、☎35・1622）

資金の種類	貸付限度額		
	学校などの種別	自宅通学	自宅外通学
就学支度資金	小学校 39,500円 中学校 46,100円 ※所得税非課税の場合貸付		
	公立の高校・高等専門学校・専修学校（高等、一般課程）・修業施設（中卒者）	150,000円	160,000円
	私立の高校・高等専門学校・専修学校（高等課程）	410,000円	420,000円
	国公立の大学・短期大学・専修学校（高等課程）	370,000円	380,000円
	私立の大学・短期大学・専修学校（専門課程）	580,000円	590,000円
	修業施設（高卒者）	90,000円	100,000円
	高等学校 専修学校（高等課程）	国公立 18,000円 私立 30,000円	23,000円 35,000円
	高等専門学校	国公立 21,000円 私立 32,000円	22,500円 35,000円
	短期大学 専修学校（専門課程）	国公立 45,000円 私立 53,000円	51,000円 60,000円
	大学	国公立 45,000円 私立 54,000円	51,000円 64,000円
修業資金	専門学校（一般課程）	31,000円（月額）	



秋の味覚が盛りだくさん りんごと米の収穫祭

イベントスケジュール

米粉パン配布

■時 間 午前10時半～
■内 容 先着200人に無料で配布

GOPAN実演試食会

■時 間 午前11時～(時間変更あり)
■内 容 お米からパンが作れるライスブレッドクッカーの実演・試食

野菜ソムリエ講座

■時 間 正午～
■内 容 料理の実演、試食を交えた講座

抽選会

■時 間 午後1時～
■内 容 お米などの景品が当たる抽選会

※上記のほか、そば、豚汁、おにぎりなどの飲食もあり
〔「りんごの家」のレストランでも飲食できます〕。

りんご・野菜などの販売

JAつがる弘前

■内 容 サンふじ、王林(贈答用)、野菜各種、新米つがる口マン(5kg)、お米のシフォンケーキ、漬物各種

JA相馬村

■内 容 りんご(家庭用)、りんごジュース(1L瓶)、りんごジャム、ジャガイモ(袋詰め)、もち米(1.5kg)

弘果物流

■内 容 サンふじ、王林(ともに家庭消費用5kg)、嶽きみ(真空パック)

サンフェスタいしかわ友の会

■内 容 りんごパイ、とうふかまぼこ、漬物各種、おやき

ANEKKO

■内 容 嶽きみ入り米粉めん

今年もりんご公園を会場に、秋の味覚いっぱい「りんごと米の収穫祭」を開催します。

りんごと米の収穫祭は、市内で収穫されたりんごなど、弘前産の農産物のおいしさを市民の皆さんに知ってもらうとともに、地元農産物の消費拡大を図るため、毎年、関係団体の協力を得て開催しています。

当日は、りんご公園で収穫したりんごや、市内の農家の皆さんが丹精込めて生産したりんご・野菜などの農産物や、農産物の加工品を販売します。

また、軽トラを使つての農産物販売や米粉パン・ポン菓子の無料配布、抽選会を実施するほか、「あおもり野菜ソムリエの会」による、試食のできる講座を開催します。入場料は無料です。家族みんなでおいでください。

▽とき 11月7日(日)
午前10時～午後2時

▽ところ りんご公園(清水富田字寺沢)

※当日は駐車場が込み合いますので、なるべくバスの利用や自家用車に乗り合わせて来園を。

▽問い合わせ先 農政課農産係(☎82・1635)

●交通 弘前バス大秋・川原平線、相馬・藍内線で常盤坂入口下車/100円バス「ためののぶ」(弘前駅前・津軽藩ねぶた村)市役所前・茂森町・りんご公園)※「ためののぶ」は、乗車区間によっては200円になる場合があります。

りんご公園案内図



イベント内容

時 時間 会 会場
内 内容・出演者

開会式

時 午前9時半～ 会 多目的ホール
内 オープニングセレモニー

トークショー

時 午前10時～ 会 多目的ホール
内 鈴木正幸さん(旧相馬村出身の俳優。テレビドラマ「金八先生」の大森巡査役)

がんばってます!あおもりの3R仲間たち

時 午前10時～ 会 2階大会議室
内 県内の団体・事業者による活動事例を展示

弘前のごみがアートになった

時 午前10時～ 会 2階大会議室
内 アートな写真パネル展示

エコキッズになあれ!

時 午前10時～ 会 4階第2・3研修室
内 間伐材で積み木、環境紙芝居、おもちゃ病院

エコな乗り物、自転車の世界

時 午前10時～ 会 4階第4研修室
内 ペダルをこいでわたあめ作りなど

うわさの電気自動車試乗会

時 午前10時～ 会 会場周辺
内 三菱 i-MiEV 無料試乗

もったいないクッキング

時 午後0時半～ 会 2階調理室
内 残りの野菜などで作れる料理を紹介

エコカフェでHOTひと休み

時 午後0時半～ 会 2階セミナー室
内 奇跡のりんごかりんとうとアップルティーでひと休み

けの汁振舞い

時 午後1時～ 会 2階調理室
内 先着300人。マイ箸・食器持参の人を優先

3Rのまなびや

時 ①午後1時～、②午後2時～、③午後3時半～
会 2階視聴覚室
内 ①Mr.マサック、②りんご娘、③ソニアが先生役を務める少人数制の体験型コーナー(受講人数制限あり)

3Rトーク&スペシャルライブ

時 ①午後1時半～、②午後4時10分～
会 多目的ホール
内 ①タカチャ&ソニア、②りんご娘

エコ科学実験

時 午後3時～ 会 多目的ホール
内 Mr.マサック

もったいない・あおもり県民運動推進フォーラム

パネルディスカッション

時 午前11時～ 会 多目的ホール
内 テーマ「できることから始める3R」

活動事例発表

時 正午～ 会 多目的ホール
内 あなたにもできる「もったいない」のヒントがいっぱい

※フォーラム参加者には「3Rのまなびや」、「エコカフェでHOTひと休み」の優待券をプレゼント。

※注 イベント内容は予告なく変更する場合があります。

■と き
11月6日(土)
午前9時半～
午後5時

■ところ
総合学習センター
(末広4丁目)

環境省東北地方環境事務所や県、市などで構成する3R推進弘前大会実行委員会が、循環型社会の形成やごみゼロ社会の実現に向けて、「もったいない・あおもりルール」で広げる3Rの輪をテーマに、ごみの減量化やリサイクル

ルなどの3R(※)を推進する目的で開催します。
楽しいイベントやアトラクションがいっぱいです。ぜひこの機会に3Rを体験してみませんか。

▽と き 11月6日(土)、午前9時半～午後5時(開場

午前9時) 総合学習センター(末広4丁目)
▽内 容 左・下記参照
▽入 場 料 無 料
▽問い合わせ先 環境保全課リサイクル推進係(市役所2階 ☎35・1130、Eメール kankyou@city.hirosaki.jp)
※3R: Reduce(リデュース)廃棄物の発生抑制。ごみをできるだけ出さない) / Reuse(リユース)再使用。使えるものは繰り返し使う / Recycle(リサイクル)再利用率。再び資源として利用する)

プレゼントも多数用意!

「マイ箸キット」

リサイクル資源(古紙)持参か、自家用車以外(※)で来場した先着200人にプレゼント

「特製6色クレヨン」

3Rアンケートに答えた先着600人にプレゼント

「特製エコバッグ、3Rリストバンド」など

3Rクイズラリーの各コーナーで出題されるクイズに答えるとプレゼント(合計300人)

※会場は駐車スペースに限りがありますので、なるべくバスや自転車でご来場ください。

プラネタリウム

11月



弘前文化センター

投影日程

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

□…一般投影を午後1時半～、午後3時～の2回投影

■…一般投影を午前10時半～、午後1時半～、午後3時～の3回投影

■…みんなで星空散歩を午前10時半～の1回、一般投影を午後1時半～、午後3時～の2回投影

■…休み

★投影プログラム

【一般投影／45分間】…星座と宇宙を楽しく知るプログラム

今年の6月、7年間にわたる宇宙の旅を終え、小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還しました。今回の投影では、この「はやぶさ」の性能やミッションについて紹介します。

▽テーマ はやぶさの大冒険

▽観覧料 一般＝240円／小・中学生、高校生＝120円

※65歳以上の市民、市内の小・中学生や障がい者、外国人留学生は無料。年齢や住所を確認できるものを提示してください。

【みんなで星空散歩／30分間】…子ども向けのプログラム

▽テーマ 秋の星座☆大集合!!

▽観覧料 無 料

★小惑星探査機「はやぶさ」模型の展示

11月28日まで、プラネタリウムホールで「はやぶさ」の模型（3分の1サイズ）を展示しています。模型は無料で観覧できますので、ぜひご来場ください。

★問い合わせ先 中央公民館（☎33・6561）

全国こどもエコクラブ壁新聞展
全国こどもエコクラブの児童が作成した、環境に関する壁新聞を展示しています。
▽展示期間 11月14日までの午前9時～午後4時
▽ところ 弘前地区環境整備センタープラザ棟（町田字筒井）
▽問い合わせ先 弘前地区環境整備センタープラザ棟（☎36・3388）
※月曜日は休館日です。

▽問い合わせ先 弘前学院大学社会福祉教育研究所（玉井さん、☎34・5311、Eメール kenkyuusyo@hrogaku-u.ac.jp）
弘大藤崎農場「農場祭」
弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターでは、大学をより知ってもらうため「農場祭」を開催します。「農場祭」では藤崎農場を開放し、さまざまな農産物の販売も行います。
また、「ふじのふるさと記念広場」の開場記念式典も併せて開催します。この機会にぜひご来場ください。
▽とき 11月13日（土）
午前9時半～午後3時

※「ふじのふるさと記念広場」開場記念式典は午前11時～正午（一般の人も見学できます）。
▽ところ 弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場（藤崎町藤崎字下袋）
▽問い合わせ先 弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場（☎75・3026、ファクス75・5646）
シンフォニー「成年後見制度を考える会」プラチナ館
高齢社会が進み、認知症や脳血管障害などの病気にかかる人が多くなり、社会福祉の中で成年後見制度の役割が増してきています。第一線で活

動し、豊かな経験を持つ社会福祉士の事例研究に基づく講話を聴いて生きた学習をしませんか。
多数の参加をお待ちしています。
▽とき 11月14日（日）
午後1時～3時
▽ところ 弘前文化センター（下白銀町）1階会議室
▽テーマ 「社会福祉の中の成年後見制度」～ケース研究に基づく講話～
▽講師 三上富士子さん（社会福祉士）
▽参加料 300円（資料代として）
▽問い合わせ・申込先 シンフォニー「成年後見制度を考える会」（目賀田さん、☎37・0345）

市民を対象にしたビデオ映画の上映会です。子育て中の人には無料の保育室を用意しています。たまにはビデオ鑑賞で息抜きしませんか。
▽とき 11月18日（木）
午前10時～午後1時
▽ところ 市民参画センター（元寺町）3階グループ活動室
▽上映作品 「パッチンして！おばあちゃん」（アニメーション）
▽対象 市民120人
▽参加料 無 料
▽問い合わせ・申込先 11月16日までに、市民参画センター（☎31・2500）へ。

第2回さんかくシアター

●弘前市役所 ☎35・1111
●岩木庁舎 ☎82・3111
●相馬庁舎 ☎84・2111

土曜日に小・中学生を対象に開催します。料金は無料です。みんなで参加しよう！
▽日程・会場
【弘前文化センター（下白銀町）プラネタリウム】
○みんなで星空散歩（子ども向けのプラネタリウム投影）
11月6日・13日・20日・27日の午前10時半～11時／中央公民館（☎33・6561）
【弘前図書館（下白銀町）】
○読み聞かせと図書館の探検隊（絵本の読み聞かせ・紙芝居などと図書館地下書庫の探検）
11月20日の午後2時～3時半／弘前図書館（☎32・3794）
【市立博物館（下白銀町）】
○親子鑑賞会（開催展覧会の鑑賞。保護者も無料）
11月6日・13日・27日の午前9時半～正午／市立博物館（☎35・0700）
【市立郷土文学館（下白銀町）】
○親子文学散歩（クイズを解きながら観覧）
11月6日・13日・20日・27日の午前10時

～正午／市立郷土文学館（☎37・5505）
■問い合わせ先 各会場へ。
※プラネタリウム、市立博物館、市立郷土文学館は市内の小・中学生はいつでも無料で。サタディプラン以外の日もご利用ください。
こどもの森11月の行事
【催し】
◎落ち葉であそぼう！
▽とき 11月7日（日）
午前10時～午後2時
▽持ち物 飲み物、昼食、替えの下着・靴下、雨具
◎晩秋の山歩き 岩落山登山
▽とき 11月21日（日）
午前9時半～午後2時
▽持ち物 飲み物、昼食、替えの下着・靴下、雨具
※いずれも雨天決行で、参加料は無料です。
【特別企画展】
◎紅葉・落葉展（落ち葉の名前当てクイズ）
▽とき 11月7日～30日
午前8時半～午後4時半
▽入場料 無 料
（共通事項）
▽ところ こどもの森ビジターセンター（坂元字山元、久渡寺地内）
▽問い合わせ先 こどもの森

ビジターセンター（☎88・3923）／市公園緑地協会（☎33・8733）
第5回廃品おもしろ工夫展 inプラザ棟 作品展示
小学生が廃品をもとに作ったさまざまな作品を展示し、一般投票を行っています。ぜひおいでください。
▽展示期間 12月11日までの午前9時～午後4時
※最終日は正午まで。
▽投票期間 11月28日まで
▽ところ 弘前地区環境整備センタープラザ棟（町田字筒井）
▽問い合わせ先 弘前地区環境整備センタープラザ棟（☎36・3388）
※月曜日は休館日です。
第14回津軽塗フェア
津軽の代表的な伝統的工芸品である津軽塗を紹介する「津軽塗フェア」を開催します。伝統工芸士によるこだわりの作品や若手職人による意欲的な作品など、数多く取りそろえています。
この機会に、長い歴史に培われた伝統の技に触れてみましょう。

▽とき 11月5日～7日、午前9時～午後5時（7日は午後4時まで）
▽ところ 市立観光館（下白銀町）多目的ホール
▽内 容 展示販売会、作品公募展、修理相談コーナー、津軽塗研修生による作品発表会など
▽入場料 無 料
▽問い合わせ先 青森県漆器協同組合連合会（☎兼ファクス35・3629）
ヒログク福祉創造フォーラム
「ソーシャルワーカーとコミュニケーション——愛地域（まち）へ——をテーマにフォーラムを開催します。
▽とき 11月7日（日）
午前9時半～午後4時
▽ところ 弘前学院大学（稔町）
▽内 容 ①基調講演「ソーシャルワーカーの考えるコミュニケーション」：講師・三上富士子さん（さくら園支援係長・社会福祉士） ②ワークショップ「社会福祉の古典・名著を読む」 ③学生による実習報告「実習を通して学んだコミュニケーション」ほか
▽参加料 無 料



11月の催し 緑の相談所

【展示会】

●津軽さつき愛好会秋季展 2日～6日

●常緑樹木展 10日～14日

【講習会など】

●庭木の雪囲い実習 13日、午後1時半～3時半

●「多肉植物のアレンジ・葉ボタンの寄せ植え」講習会

▽とき 19日～21日
午前＝10時半～正午
午後＝1時半～3時

▽定員 午前・午後＝各15人程度（先着順）

▽材料費 2,000円

▽持ち物 エプロン、ゴム手袋、土入れまたはシャベル、持ち帰り用の大きめの袋

※親子での参加もできます。

▽申込先 11月16日までに、緑の相談所へ。

【弘前城植物園…

今月見られる花など】

花…チャノキ、十月桜、野菊の仲間など

実…サンシュユ、カリン、マルメロなど

紅葉…モミジ、ニシキギ、ドウダンツツジなど

●休館日 24日・29日

●問い合わせ先 緑の相談所（☎33・8737）

秋の読書週間行事



▽とき 11月2日～14日
▽ところ 岩木図書館（賀田1丁目）
▽内容
○一般閲覧室…三浦哲郎の作品の展示と貸し出し
○児童室…民話の展示とボランティアによる読み聞かせ
※読み聞かせは、11月6日・13日の午前10時半～11時。
▽問い合わせ先 岩木図書館（☎82・1651）

障害者週間記念大会 福祉・教育懇談会

弘前地区心身障害児者父母の会連合会では、障がいのある人もない人も共に理解し合うことを目的に懇談会を開催します。

▽とき 11月18日（木）
午前9時45分～午後2時半

▽ところ 身体障害者福祉センター（八幡町1丁目）体育館

▽内容 基調映像／記念講演：講師・八戸宏さん（弘前学院大学社会福祉学部学科長）

▽参加料 無料（昼食は本連合会で用意します）

▽問い合わせ・申込先 11月10日までに、電話またはファクス（住所・氏名を記入）で、身体障害者福祉センター（☎36・4521、ファクス32・1144）へ。
※電話での受付時間は午前8時半～午後5時15分。

舞台鑑賞&体験タイム 「ぶらっとホール」

息づかいが感じられる生の文化や芸術を体感し、子どもの感性を培い、生きる力をはぐくみます。

▽とき 11月21日（日）
午前10時半～正午

▽ところ まちなか情報センター（土手町）

▽内容 ①人形劇「おかしな家の歯みがきマン」…公演・弘前大学児童文化研究部

②体験タイム「チャレンジ!! かんたん人形劇!」…午前11時20分～正午

※②は事前の申し込みが必要。定員は20人。

▽参加料 無料

▽問い合わせ・申込先 弘前子どもコミュニケーションセンター（☎兼ファクス34・0171、Eメール people-office@major.ocn.ne.jp）

『ひろさき農業』体験ツアー ～伝承の味を知ろう～

弘前の豊かな食材と食文化により今につながる伝統の味について、農村女性と交流を図りながら理解を深めてみましょう。

▽とき 12月10日（金）
午前10時～午後2時

※当日は午前9時50分までに、市立観光館（下白銀町）バスプールに集合。

▽内容 ①伝承料理についての講話 ②伝承料理につい

教室・講座

CAD技術者講習

不足している光関連産業のCAD技術者を育成する講座です。

▽とき 11月10日・11日・12日・15日・16日・18日・19日の午前9時～午後4時

▽ところ 青森職業能力開発短期大学校「ポリテクカレッジ青森」（五所川原市飯詰）

▽内容 CADの基礎から効果的・効率的な使用方法およびデータ管理方法までの知識と技能の習得

▽対象 ①市内に居住し、

あおもり県民カレッジの単位認定講座です。

弘前市女性大学公開講座

「私たちの食生活と放射線」をテーマに開催します。なお、本講座は男性も受講できます。

▽とき 11月15日（月）
午前10時～正午

▽ところ 弘前文化センター（下白銀町）ホール

▽内容 恋する「つがるおとめ」と「ふじ」の話や、青森県の食材を中心とした品種改良、害虫駆除、食品照射などについて

▽講師 田邊裕さん（日本原燃放射線管理部部长・医学博士）

現在求職中の人（在職中で転職を希望している人を含む）

②機械図面をおおむね理解できる人 ③パソコン（ワード・エクセル）の一般的な操作ができる人 ④全日程を受講できる人

▽定員 15人（先着順）

※事前の申し込みが必要。

▽受講料 無料

▽問い合わせ・申込先 電話またはファクス（住所・氏名・年齢・性別・電話番号・メールアドレス・現在求職中か否かを記入）で、弘前市雇用機会増大促進協議会（神田2丁目、弘前市伝統産業会館内、☎兼ファクス32・6267、ホームページ <http://www.hirosaki-koyou.jp/>）へ。
※電話での受付時間は、午前9時～午後5時（土・日曜日、祝日を除く）。

わら座布団作り教室

稲わらを使って、実用的にも装飾品にもなる、昔懐かしいうら座布団を作ってみませんか。

▽とき 11月14日（日）
午前9時半～午後0時半

▽ところ 弘前地区環境整備センタープラザ棟（町田字筒井）

▽受講料 無料

▽問い合わせ先 弘前市連合婦人会事務局（弘前文化センター1階、市社会教育協議会内、☎31・3010）

スポーツ体験教室

▽とき 11月19日～12月17日の毎週金曜日、午前10時～11時半

▽ところ 弘前B&G海洋センター（八幡町1丁目）

▽内容 ソフトバレーボール、ラケットテニス

▽対象 市民120人（学生を除く）

▽参加料 無料（各自傷害保険などに加入を）

▽持ち物 運動できる服装、室内用シューズ、フェースタオル、飲み物

▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、11月14日（必着）までに弘前B&G海洋センター（〒036・8057、八幡町1丁目9の1）へ。

※はがき1枚で1人まで。応募多数の場合は抽選で決定します。

▽問い合わせ先 弘前B&G海洋センター（☎33・4545）

ニーススポーツ体験と ストレッチ教室(前期)

- ▽とき 11月18日(12月16日の毎週木曜日、午前10時～11時半(全5回))
- ▽ところ 岩木B&G海洋センター(兼平字猿沢)
- ▽内容
- 【Aコース】ユニカールとストレッチ体操(2回)、ラージボール卓球とストレッチ体操(1回)
- 【Bコース】ユニカールのみのみ
- 【Cコース】ラージボール卓球のみ
- ※希望するコース1つを選び体験(コースは途中で変更可能)。
- ▽対象 市民20人
- ▽参加料 無料(各自傷害保険などに加入を)
- ▽持ち物 運動できる服装、フリースタオル、室内用シューズ
- ▽問い合わせ・申込先 岩木B&G海洋センター(☎82・5700)

ベテランズセミナー

- ▽とき 11月25日(木) 午前10時～正午
- ▽ところ 弘前文化センター(下白銀町) 2階中会議室
- ▽内容 「租税教室 高齢者と税(年金と税)」…講師・坂本義明さん(青森税務署職員)
- ▽対象 市内在住の60歳以上の老人
- ▽受講料 無料
- ▽問い合わせ・申込先 電話で、中央公民館(☎33・6561)へ。
- ※火曜日は休館日です。

第3回ひとやさしい 社会推進セミナー

- 津軽10万石の城下町弘前で、藩政時代の女性の暮らしの中から、現代女性の生き方のヒントを見つけてみませんか。
- ▽とき 11月26日(金) 午後6時半～8時半
- ▽ところ 市民参画センター(元寺町) 3階グループ活動室
- ▽テーマ 「藩政時代と現代の女性の暮らし」
- ▽講師 今井二三夫さん

(青森県文化財審議委員会 長)

▽対象 市民20人

▽参加料 無料

※保育室を用意しますので希望者は参加申し込み時に申し出てください。

▽問い合わせ・申込先 11月24日までに、市民参画センター(☎31・2500)へ。

ほっと・ぼらんていあ

くやすらぎの場

気軽に誰でも参加できるボランティア講座です。

▽とき 11月27日(土) 午後1時半～3時半

▽ところ 弘前文化センター(下白銀町) 2階第1会議室

▽内容 「災害ボランティアを学ぶ」をテーマに、青森県医療ソーシャルワーカー協会副会長の鳴海孝彦さんを講師に招き、実際の体験に基づいてお話を伺います。

▽参加料 無料

※事前の申し込みは不要。

▽問い合わせ先 ボランティア支援センター(弘前文化センター内、☎38・5595、ホームページ <http://www.hi-jin.jp/vsc/>)

※日・火曜日は休館日です。

市民ボランティア によるパソコン講座

学ぶ市民のためのパソコン講座です。

【インターネット・メール入門講座】

▽とき 12月1日・8日の午前10時～午後1時45分(希望者のみ、復習・質問時間11時45分～3時)

▽内容 インターネット、Eメールなど

▽参加料 無料

▽持ち物 筆記用具、昼食

【エクセル2007入門講座】

▽とき 12月3日・10日・17日の午前10時～午後1時45分(希望者のみ、復習・質問時間11時45分～3時)

▽内容 表計算ソフト(エクセル2007)を活用した基本的な操作技術の習得

▽参加料 105円(テキスト代として)

▽持ち物 筆記用具、USBメモリ、昼食

※エクセルは2007を使用します。ほかのバージョンを使っている人は操作方法が異なりますのでご注意ください。

【共通事項】

▽ところ 総合学習センター

税務署からのお知らせ

〔相続又は贈与等に係る生命(損害)保険契約等に基づく年金の税務上の取扱いの変更について〕

相続や贈与などにより取得した生命保険契約や損害保険契約等に係る年金の所得税の取り扱いを改めることにしました。

この取り扱いの変更により所得税の還付を受けることができる場合があります。詳しくは国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)をご覧ください。

源泉徴収義務者対象の 年末調整等説明会

平成22年分の年末調整関係資料は、10月下旬に税務署から源泉徴収義務者に郵送されています。同封された説明会の日程を確認して出席してください。

(未広4丁目)

▽対象 文字入力およびキーボード・マウスの操作ができる市民20人

▽受け付け開始 11月16日、午前8時半

※定員になり次第締め切り。電話での申し込みも受け付けます。

▽問い合わせ・申込先 学習情報館(総合学習センター内、☎26・4800)

清水交流センターの教室

【あい・あむ・ニット】

▽とき 12月2日(平成23年2月24日の毎週木曜日(12月30日を除く。計12回)、午後1時半～3時半

▽ところ 清水交流センター(大開2丁目)

▽内容 手編みベストの製作

▽定員 10人(先着順)

▽参加料 1回330円(材料費含む)

▽持ち物 棒針、かぎ針

※針の号数については、申し込み時に説明します。

▽その他 清水交流センター内に完成品を展示していますので、ぜひご覧ください。

▽問い合わせ・申込先 11月5日～16日に、清水交流セン

ださい。

▽とき 11月18日(木) 午前の部11時45分～11時45分/午後の部11時45分～3時45分

▽ところ 弘前文化センター(下白銀町) ホール

▽内容 年末調整の基本的事項と平成22年の改正など

▽問い合わせ先 弘前税務署(本町、☎32・0331)

緑化推進活動に助成金

平成23年に市民団体などが自主的に行う森林整備や緑化活動、青少年団体による緑化教育活動などの非営利活動に対し、「緑の募金」を活用した助成金を交付します。希望する団体は申し込みを。

▽実施場所 弘前市内(ただし、緑化教育活動の場合は市外でも可能)

▽対象経費 苗木・種子・支柱・肥料などの緑化資材購入費(ただし、緑化教育活動の場合は交通費、講師謝礼を含む)

▽助成額 15万円を上限とし、対象経費の全額

▽問い合わせ・申込先 12月28日までに、弘前市緑化推進委員会事務局(岩木庁舎2階、農村整備課管理係内、☎82・1637)へ。

交通死亡事故多発警報発令

～交通事故のないまちを～

市内で、12人の交通事故による犠牲者が発生したことから、弘前市交通安全対策連絡会(会長・葛西市長)では、10月12日に、交通死亡事故抑止に向けて緊急対策会議を開き、交通死亡事故多発警報を発令し、市役所・追手門前交差点で啓発活動を行いました。

警報発令期間中(10月12日～31日)には、高齢者のほか、夕暮れ時や夜間の交通事故防止を重点として、弘前警察署や関係団体の諸活動が展開されました。

尊い生命を守り、安全で安心、快適に暮らすことができるように、交通事故には十分気を付けましょう。

▽問い合わせ先 市民生活課安全安心対策担当(☎35・1102)



■街頭啓発活動

その他

フリースタイル

マーケット出店者募集

- ▽とき 12月12日・19日、午前10時～午後3時
- ▽ところ 市立観光館(下白銀町) 多目的ホール・研修室
- ▽出店条件 リサイクル業や商品販売業を営んでいない18歳以上の人(高校生を除く)で、出店者本人が当日販売できること
- ▽出品条件 電気製品などは正しく作動すること(PSE

ター(☎87・6611)へ。
※月曜日は休館日です。

保健衛生座談会

弘前市町会連合会では、市内を巡回して保健衛生座談会を開催しています。
環境や保健に関すること、日ごろ疑問に思っていることや、取り組んでいることなどについて、気軽に話しましょう。どなたでも参加できます。

▽日程 左表を参照

▽講師 市職員

▽問い合わせ先 弘前市町会連合会事務局（☎35・1111、内線346）

実施日	地区	開催会場
11月15日（月）	堀越	堀越公民館（門外2丁目）
11月16日（火）	城西	西交流センター（城西4丁目）
11月19日（金）	一大	みなみ会館（大町2丁目）

※時間は各会場とも午後1時半から。

※今後の日程は随時広報ひろさきでお知らせします。

軽油引取税と

不正軽油について

軽油引取税は、バスやトラックなどの燃料に使われる軽油の引き取り（購入など）に対して課税される県税です。
不正軽油とは、脱税を目的として、軽油に重油や灯油を混ぜ、軽油と偽り販売されるものです。また、不正軽油は、軽油引取税の脱税にとどまらず、環境汚染や不法投棄など、さまざまな被害をもたらします。

不正軽油の製造、販売、使用はもちろん、不正軽油に使用されることを知りながら材料を提供・運搬した人、不正軽油を製造する場所を提供した人にも重い罰則が適用されることがあります。

不正軽油の撲滅にご協力をお願いします。

▽問い合わせ先 中南部地域県民局県税部課税第一課（☎32・1131、内線378、228）

夜間・休日納税

相談のご利用を

収納課では、日中や平日に納税相談ができない人のため

に、夜間・休日納税相談日を設けています。

納期限までに納付できない事情がある人は、未納のままにせず、ぜひ相談においでください。また、この日は電話での相談や、市税などの納付もできます。

▽夜間納税相談 11月15日～19日の午後5時15分～7時半

▽休日納税相談 11月28日の午前9時～午後4時
※毎月第4日曜日は休日納税相談日です。

▽問い合わせ・受付場所 収納課（市役所2階、窓口205、☎40・7032、40・7033）

不動産の公売

市では、市税などの滞納処分として差し押さえた不動産の公売を行います。

公売財産の詳細や入札手続きについては、市役所の掲示場に掲示している「公売公告」、または収納課に備え付けてある「公売情報」をご覧ください。

▽入札日時 11月17日（水）午前10時～10時半

※当日は午前9時半から受け付けし、入札についての説明などを行います。

▽ところ 市役所（上白銀町）

4階第3会議室
▽問い合わせ先 収納課整理係（市役所2階、窓口204、☎40・7034）

戦後強制抑留者の皆さんへ

シベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金の請求受け付けが10月25日から始まりました。

請求書が届いていない人はお問い合わせください。

▽請求受付期間 10月25日～平成24年3月31日

▽対象 戦後強制抑留者で、平成22年6月16日に日本国籍を有する存命の人

▽問い合わせ・請求先 平和祈念事業特別基金（ナビダイヤル0570・059・204）

※電話の問い合わせは、平日の午前9時～午後6時に。また、IP電話、PHSの場合は、東京03・5860・2748へ。

市営駐車場の回数券を

発行 どうぞご利用を

市では11月1日から、市が運営管理を行っている弘前駅中央口および城東口駐車場の回数券を発行することになり

銀町）多目的ホール

▽問い合わせ先 弘前調停協会（下白銀町、青森地方裁判所弘前支部内、☎32・4321）

合同就職面接会

ハローワーク弘前などとの共催により就職面接会を開催します。

▽とき 11月19日（金）午後1時～4時

▽ところ ホテルニューキャッスル（上鞆師町）2階曙

▽対象 離職者（自己都合を除く）および非正規雇用労働者

▽問い合わせ先 青森県地域共同就職支援センター弘前コーナー（駅前3丁目、第2トモエビル2階、☎55・0115）

自衛官募集

【高等工科学校生徒】

○推薦受験

▽受付期限 平成23年1月6日

▽試験日 平成23年1月15日～17日の指定する1日

▽試験場所 陸上自衛隊高等工科学校（神奈川県横須賀市御幸浜）

○一般受験

▽受付期限 平成23年1月7日

裁判員制度と名簿記載通知を送ります

平成23年の裁判員候補者名簿に登録された人に、名簿記載通知を11月に発送します。

この通知は、平成23年2月ごろから平成24年2月ごろまでの間に裁判所に来てもらい、裁判員に選ばれる可能性があることをお知らせするものです。

また、この通知のほか、裁判員候補者には、明らかに辞退が認められる場合などの事情を早期に把握するため、調査票を送付します。

▽問い合わせ先 青森地方裁判所刑事訴訟係（☎青森017・722・5351）

※裁判員制度の詳細については、ホームページ <http://www.saibanin.courts.go.jp/> をご覧ください。

健康ですか

弘前市保健センター
(野田2丁目)
☎ 37・3750

検診の受診を

セット検診、女性の健康診査は、受診希望日の1週間前までに電話で弘前市保健センターへ申し込んでください。ただし、定員(日によって異なります)になり次第締め切ります。

なお、市の各種検診は、年度内(4月1日～3月31日)に1回受診できます。

【セット検診】

▽とき 11月15日～12月11日(日曜日、祝日を除く)
※11月30日、12月9日は女性のみ。

▽対象 40歳以上の市民(職場で受診できる人を除く)

▽内容 胃・肺・大腸がん検診(50歳以上で希望する人は前立腺がん検診も受診できます。費用は別途500円)

▽料金 1900円(市の国保加入者は950円、70歳以上の人は無料)

【女性の健康診査】

▽とき 11月18日・27日・30日、12月9日
※11月の託児日は30日(乳幼児10人まで)。

▽対象 18歳～39歳の主婦や自営業の女性で、健康診査を受けていない人(職場で受

診できる人、妊娠中やその疑いのある人を除く)

▽内容 血液検査、尿検査、内科診察、骨密度検査など

▽料金 800円
(共通事項)

【医療機関での検診】

胃・大腸・前立腺がん検診、骨密度検診、結核検診は、弘前市保健センターのほか、医療機関でも受診できます。医療機関での受診を希望する場合は、直接、医療機関へ「市の検診」と伝えてお問い合わせください。

※市の検診が受けられる医療機関や検診などの料金は「健康と福祉ごよみ」で確認するか、弘前市保健センターへお問い合わせください。

乳幼児の健康診査

母子健康手帳を持参してください。場所は弘前市保健センター(各指定医療機関での個別検診を除く)で、料金は無料です。

なお、発熱など体調不良の場合は、次回に受診していたかどうかをお願いします。

【4か月児・7か月児】
各指定医療機関での個別健

診です。対象児には通知します。

【1歳6か月児】

とき 11月24日・25日
受付 午後0時半～1時半
対象 平成21年5月生まれ

【3歳児】

とき 11月10日・11日
受付 午後0時半～1時半
対象 平成19年4月生まれ

【1歳児歯科】

とき 11月17日・18日
受付 午後0時半～1時半
対象 平成21年11月生まれ

【2歳児歯科】

各指定歯科医療機関での個別健診です。対象児(平成20年5月生まれ)には通知します。

定期予防接種

定期予防接種を受けるときは、「予防接種と子どもの健康」をよく読み、予約票に記入後、母子健康手帳と一緒に持参してください。料金はいつでも無料です。予約票がない人は、弘前市保健センターへ連絡してください。

【麻しん風しん混合・三種混合・二種混合・BCG】
通年接種です。対象は「健康と福祉ごよみ」で、受付時間は指定医療機関で確認し、

早めに接種してください。

○麻しん風しん混合：1期 1歳～2歳未満／2期 5歳～7歳未満で小学校就学前の1年間(4月1日～3月31日) ※平成20年4月1日から5年間の期限付きで、麻しん・風しんの定期予防接種対象が、現在の1期と2期に加え、3期(中学校1年生に相当する年齢の人)、4期(高校3年生に相当する年齢の人)に拡大されました。対象に当たる人は、忘れずに接種してください。

○三種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風) 生後3か月～7歳6か月未満(1期初回は20日～56日間隔で3回接種)
※接種間隔が外れると有料になります。医師に相談し、計画を立てて早めに接種してください。

○二種混合(ジフテリア・破傷風) 11歳～13歳未満 ※三種混合予防接種の初回と追加を終了した児童、まだ接種していない児童は早めに医師に相談してください。
○BCG 生後3か月～6か月未満
※接種間隔が短いので、3か月になったら早めに接種してください。

こころの健康相談

弘前市保健センターでは、本人や家族の心の悩みについて、保健師が面接して相談に応じています。秘密は厳守します。希望する人は事前に電話で申し込みを。相談は無料です。

▽11月・12月の相談日

11月=9日(火)

12月=14日(火)

※時間はいずれも午前9時～午後3時半。

▽ところ 弘前市保健センター(野田2丁目)

▽対象 市民

※「こころの病気」の治療をしていない人を優先します。現在治療している人は、まず主治医に相談を。

▽予約受付時間 午前8時半～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)

▽問い合わせ・予約先 弘前市保健センター(☎ 37・3750)

年に一度は 検診を受けましょう！

【日本脳炎】

日本脳炎の予防接種は積極的な勧奨を差し控えていたが、1期の標準的な接種期間に当たる人(3歳～4歳未満)は、接種勧奨を再開することとなりました。対象に当たる3歳の人は、初回接種を早めに行ってください(1期初回は6日～28日の間隔で2回接種)。

※接種間隔から外れると有料になります。医師に相談し、

計画を立てて早めに接種してください。

○平成17年の積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した人も接種ができるようになりました。なお、料金は無料です。

▽対象 生後6か月～7歳6か月未満の人および9歳～13歳未満の人

①第1期の初回接種のうち、1回接種を受けた人は、6日以上の間隔をおいて、残りの2回接種を行う

②第1期の初回接種を受けた人は、残り1回接種を行う

③第1期予防接種を全く受けていない9歳～13歳未満の人は3回接種を行う
※7歳6か月～9歳未満の人は、9歳になったら13歳未満の間に接種できます。

【広域予防接種】

定期予防接種を何らかの事情により市内の指定医療機関で接種できない場合は、県内他市町村でも接種することができます。

詳しくは、弘前市保健センターへお問い合わせください。

【ボリオ(小児まひ)】

日程と会場は「健康と福祉ごよみ」で確認してください。どの会場でも接種できます

が、各会場とも駐車スペースに限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

▽実施期間(秋期) 9月1日～11月30日

マタニティ歯科健康診査

とき 12月5日(日)

▽受付 午後0時半～3時
▽ところ 弘前市保健センター

1

▽内容 妊婦歯科健診／講話／ブラッシング指導／パパママ教室(ママの食生活展示、パパとママの育児体験、赤ちゃんのお風呂実演、ビデオシアーなど)／チャイルドシート説明

▽対象 市内在住で開催日現在妊娠12週～31週(4か月～8か月)の人とその家族 40人(先着順)

▽参加料 無料

▽持ち物 母子健康手帳

▽申込先 11月8日から、弘前市保健センターへ。

離乳食教室

とき 11月19日(金)

▽受付 午後1時半～3時
午後1時～1時半

▽ところ 弘前市保健センター

1

▽内容 離乳食グループレッスン／ミニ講話(親子のふれあい、これから始める歯みがき)／身長・体重測定／育児相談

▽対象 市内在住の平成22年6月生まれ

▽参加料 無料

▽持ち物 母子健康手帳

▽申込先 11月8日から、弘前市保健センターへ。

キッズ相談

とき 11月16日(火)

▽受付 午前10時～11時
※相談が終わり次第終了します。

▽ところ 弘前市保健センター

1

▽内容 子育て相談／発達相談(時間予約制)／身長・体重測定／歯科衛生士のミニ講話

▽対象 市内在住の幼児(1歳以上)とその家族

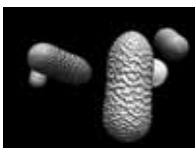
▽参加料 無料

▽持ち物 母子健康手帳

※歯の相談を希望する人は、普段使っている歯ブラシを持参してください。

▽申込先 開催日前日までに、弘前市保健センターへ。

多剤耐性菌について



○多剤耐性菌とは？

細菌のうち、変異して多くの抗菌薬（抗生剤）が効かなくなった細菌のことです。なお、耐性菌、多剤耐性菌については、1970年代以降、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）が広がっており、2000年代に入って多剤耐性結核菌など、さまざまな細菌が全国に広がっていることが知られています。

○感染経路について

手などに付いた細菌が、何かのきっかけで、口などから入って感染します。

○健康な人にとっての多剤耐性菌について

感染力や病気をおこす力は、耐性菌ではない細菌と同じです。一般的には、細菌が健康な人の体の中に入ったり、皮膚や粘膜の表面に付いたりするだけでは、すぐに病気になるわけではありません。

○どのようなことが問題となっているのか？

体の抵抗力が落ちているときなどには、多剤耐性菌による感染症にかかることがあり、抗菌薬が効かないため、治療が難しくなります。

○家族が多剤耐性菌による感染症と診断されたときの注意

多剤耐性菌による感染症にかかった家族から、ほかの家族に感染することはほとんどありません。しかし、手に付いた菌が口から入ってしまったときなどに、多剤耐性菌に感染することがあるので、感染している家族と接触した後は、手洗いをきちんとすることが大事です。特にトイレを使用した後は、きちんと手を洗っ

てください。症状のない人は、日常の生活の中で特別な対応をする必要はありません。

○感染しているかどうか検査を受けたい

症状がなければ検査する必要はありません。ぼうこう炎や肺炎などの感染症にかかって、抗菌薬などによる治療をしても良くならない場合は、詳しい検査をする必要があります。検査ができる所は、専門の検査機関に限られ、主治医が必要だと判断した場合に検査します。

○体調が悪くて心配なときは？

熱が出るなど、体調が悪いときには、早めに医療機関を受診し、必要な検査を受け、正しく診断してもらい、適切な治療を受けることが重要です。感染症にかかった人が、過去に飲み忘れて保管してあった抗菌薬などを、自分の判断で飲むことは、多剤耐性菌を増やしてしまうことがあるのでとても危険です。

○多剤耐性菌が問題となっている地域から帰国した場合、検査する必要はありますか？

症状がなければ検査をする必要はありません。体調不良を感じたら、早めに医療機関を受診し、渡航先などを医師に話してください。

○多剤耐性菌に有効な消毒方法がありますか？

腸管出血性大腸菌（O157など）やサルモネラ菌などの食中毒をおこす菌の消毒と同じように、加熱やアルコール系などの一般的な消毒薬が有効です。

詳しくは、多剤耐性菌に関するホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/multidrug-resistant-bacteria.html>）をご覧ください。

■問い合わせ先 健康推進課（弘前市保健センター内、☎37・3750）



インフルエンザ予防接種



高齢者インフルエンザ予防接種

接種を希望する場合は、「健康と福祉ごよみ」に掲載の指定医療機関へ直接問い合わせ、予約の上、接種してください。

▽接種期間 10月1日～平成23年3月31日

▽対象 65歳以上の人、または60歳から64歳までの人で心臓、腎臓、呼吸器などの機能に省令で定める障がいがある人

▽接種費用 自己負担1,000円（ただし、新型インフルエンザワクチン接種費用の負担軽減事業の対象になる人は、申請により無料になります）

インフルエンザワクチン予防接種

本年度のインフルエンザワクチンは基本的に新型インフルエンザ（A/H1N1）と季節性インフルエンザの両方を含んだワクチンとなります。接種の回数は0歳から12歳までが2回で、13歳以上は1回です。

▽接種期間 10月1日～平成23年3月31日

▽対象 市民

▽接種費用 全額自己負担で上限3,600円（0歳から12歳までは2回接種で6,150円または7,200円）

※料金は各指定医療機関へ直接お問い合わせください。

○新型インフルエンザワクチン接種費用の負担軽減について

市では、国の新型インフルエンザまん延による重症化対策の一環として、低所得者を対象に新型インフルエンザワクチン接種費用の負担軽減事業を実施しています。該当する人は指定医療機関で無料で接種できますが、申請が必要です。

▽対象 弘前市に住所を有する人のうち、次のいずれかの人

○生活保護受給世帯に属する人

○平成22年度市民税非課税世帯（世帯全員が非課税）に属する人

▽負担軽減額 ワクチン接種に要する費用の全額で上限6,150円（1回目3,600円、2回目2,550円）

※2回目を別の医療機関で接種する場合は、3,600円。

▽手続き方法

①接種前に申請する人

申請用紙：平成22年度新型インフルエンザワクチン接種費用軽減事業助成申請書（様式1号）

1号申請書を健康推進課（野田2丁目、弘前市保健センター内）へ提出してください。接種時に必要な「確認書」を発行します（確認書を接種時に指定医療機関に提出すると接種費用が

かかりません。「確認書」の発行までは10日程度かかる場合がありますので、接種までの日数が少ない人は接種後、②の手続きをお願いします。

②既に接種を済ませた人

申請用紙：平成22年度新型インフルエンザワクチン接種費用助成申請書（様式4号償還払用）

4号申請書にワクチン接種領収証と接種済証を添えて、健康推進課へ提出してください。対象者の確認後、口座に助成金を送金します。

▽申請期限 平成23年3月31日

※ただし、①の場合はワクチン接種月日が平成23年3月31日までのものに限り、平成23年4月以降は無効となりますのでご注意ください。

▽申請用紙の配布場所 健康推進課、岩木保健福祉センター、市役所総合案内所、岩木・相馬総合支所民生課、市民課駅前分室、市民課城東分室、各出張所

■問い合わせ先 健康推進課（☎37・3750）

輸血は手術や事故よりも、毎日の治療の一環として行われることのほうが多く、青森県では毎日、2000人～2500人分の血液が必要とされています。このうち、弘前市では、毎日約60人分の血液が必要となっています。

しかし、10月～4月は献血者が減少傾向になりがちで、毎年、他県からの応援を得て、血液を病院に届けている状況です。また、医療機関からの血液の要請の85%以上は、400ミリリットル献血由来の血液です。輸血用の血液を確保するためには、皆さんの献血が頼りです。近くで献血バスを見掛けたり、献血にご協力をお願いいたします。

▽問い合わせ先 健康推進課（野田2丁目、弘前市保健センター内、☎37・3750）

患者さんの生命を守るのは、
献血から生まれる愛の贈り物



健康に関する講座など

弘前学院大学講演会

安心で納得のいく医療の提供とは何か、セカンド・オピニオンとしての医師の役割を分かりやすくお話しします。

▽とき 11月13日（土）午後2時半～4時半

▽ところ 弘前学院大学（稔町）礼拝堂

▽内容 講演「セカンド・オピニオンについて」：講師・今充さん（国立病院機構弘前病院セカンド・オピニオン担当医）

▽対象 市民

▽入場料 無料

▽問い合わせ先 弘前学院大学地域総合文化研究所看護学部（加賀谷さん、☎31・7100）

第9回市民公開講座

「骨髄移植を知ろう」

▽とき 11月13日（土）午後1時～4時

▽ところ 弘前大学創立50周年記念会館（文京町）

▽内容 講話「小児の骨髄移植に関するお話」：講師・

▽とき 11月29日、12月10日（計2回）の午前10時～午後2時

▽ところ 弘前市保健センター1（野田2丁目）

▽内容 糖尿病や肥満予防の講話、運動、バランス食の調理実習など

▽対象 2回とも受講できる市民

▽定員 30人（先着順）

▽受講料 無料

▽問い合わせ 申込先 11月5日から、電話またはファクス（住所・氏名・電話番号を記入）で、弘前市食生活改善推進員会（斎藤さん、☎兼フアクス88・3054）へ。

糖尿病予防のための講習会

伊藤悦朗さん（弘前大学医学部小児科教授）／患者さん体験談／ドナー体験者のお話／いのちのリレーコンサート（青森山田中学高等学校吹奏楽研究会）

▽入場料 無料

▽問い合わせ先 第9回市民公開講座「骨髄移植を知ろう」実行委員会（協和発酵キリン内、☎青森017・77・8012）

弘前城築城 400 年祭記念事業

長勝寺修理現場特別公開

文化財建造物の保存修理について理解を深めてもらうため、文化庁の「文化財建造物保存修理公開・展示事業」として、長勝寺庫裏の修理現場を特別公開します。

【現場公開】

▽と き 11月13日・14日

午前9時半～午後4時

▽内 容 庫裏の半解体修理中の現場と、平成20年に半解体修理が完了した本堂の見学／やりがんな・かやぶきの実演／修理の様子をパネル展示

【講演会】

▽と き 11月14日(日)、午前10時～

▽内 容 「江戸時代における長勝寺の修理の歴史～本堂・御影堂・庫裏～」…講師・福井敏隆さん(弘前市文化財審議委員長)

▽定 員 50人

～共通事項～

▽ところ 長勝寺(西茂森1丁目)

▽入場料 無 料

※講演会への参加を希望する人は、事前に講演会受付専用(☎携帯080・2808・4949)へ申し込んでください。
▽問い合わせ先 弘前観光コンベンション協会(☎35・3131)



▲長勝寺本堂

狂言

弘前特別公演

東奥日報社では、弘前城築城400年祭記念事業として「狂言弘前特別公演」を開催します。

特別な祝いや催しで演じる「三番叟(さんばそう)」を人間国宝の野村万作さんが踏み、日本芸能の神髄といえる格式と躍動感を堪能できます。また、野村萬斎さんが出演する狂言「二人袴(ふたりばかま)」では、狂言の魅力を存分に楽しむことができます。

この機会にぜひご覧ください。

▽と き 12月12日(日)

午後2時半開場、3時開演

▽ところ 市民会館(下白銀町)

▽解 説 野村萬斎さん

▽入場料(全席指定) S席1万円/A席8,000円

▽前売り券販売所 日弘楽器、紀伊國屋書店弘前店(いずれも土手町)、さくら野弘前店(城東北3丁目)、弘前大学生協(文京町)、さくら野青森店(青森市新町1丁目)、東奥日報社観光部(青森市第二問屋町3丁目)、ローソンチケット、チケットぴあ

▽問い合わせ先 東奥日報社事業部(☎青森017・739・1111)

弘前城築城 400 年祭記念事業

ひと足お先の映画祭



東北新幹線新青森駅開業を記念して、国内外の鉄道関連の作品を集めた映画祭を開催します。

映画チケットで協力店舗のお得なサービスが受けられるほか、駅弁フェアも同時開催しますので、ぜひご来場ください。

▽と き ①12月3日の午後7時
②12月4日・5日の午前10時半

▽ところ ①ワーナー・マイカル・シネマズ弘前(高崎2丁目) ②中三弘前店(土手町) 8階スペースアストロ

▽上映作品 「いこかもどろか」「新幹線大爆破」「明日へのチケット」ほか(全9作品)

▽入場料(上映作品1本につき) 前売り1000円/当日1200円

▽チケット販売所 中三弘前店、まちなか情報センター、紀伊國屋書店弘前店(いずれも土手町)、ワーナー・マイカル・シネマズ弘前、弘前大学生協(文京町)、弘前商工会議所(上鞆師町)、成田本店しんまち店(青森市新町1丁目)

▽問い合わせ先 ひと足お先の映画祭実行委員会事務局(harappa-h.org) 31・0196、Eメール post@harappa-h.org ホームページ http://harappa-h.org/

スーパーマーケットなどにも広報紙を配置

「広報ひろさき」は市の主な施設や、市内の金融機関・郵便局のほか、下記スーパーマーケットでも入手できます。また市のホームページにも掲載していますのでご利用を。

- カブセンター各店 ●ベニーマート ●Uマート各店
- マックスバリュ各店 ●ユニバース各店

■問い合わせ先 広報広聴課広報係(☎35・1194)

今月の市税などの納期

市民税・県民税 第3期
国民健康保険料 第5期
介護保険料 第5期
後期高齢者医療保険料 第5期

納期限＝11月30日

☆毎月第4日曜日は納税相談日です。
☆納税は便利で確実な口座振替のご利用を。